

07. Solaris Shift-JIS 環境での設定ツール等の表示

Solaris版シャットダウンソフトウェアのGUIツールは、デフォルトではEUC環境用になっています。Shift-JIS環境で使用する場合は、Shift-JIS環境で表示できるように各ツールのリソースを準備する必要があります。設定が可能なソフトウェアでは、以下のディレクトリにShift-JIS用のリソースファイルを準備しています。

(注意)
リソースが準備されていないソフトウェアもあります。リソースがない場合はCUIツールをご利用ください。また、下記手順については非標準のカスタマイズ手順となるため、手順に伴うサポート対応は控えさせていただきます。

ファイルの場所	Shift-JIS環境用リソースファイル名
(インストールパス)/rsrc (デフォルト: /usr/ups/rsrc)	Dlalog.SJIS SCdisp.SJIS XInst.SJIS XOption.SJIS NEtadm.SJIS UPsg.SJIS XMaint.SJIS XSched.SJIS ソフトウェアの種類によっては存在しないファイルもあります。

文字化けせず、ただしく表示させるためには、各ツールのリソースファイルを指定ディレクトリへコピーすることで可能です。
ここでは、一般的な言語(Shift-JIS:ja_JP.PCK)についてのみ説明します。

なお、環境パスはバージョン、または設定により上記と異なる場合は、任意の環境パスを確認してください。

言語環境	printenv LANG コマンドの実行結果	リソースを置く場所
EUC	ja	/usr/openwin/lib/locale/ ja /app-defaults
Shift-JIS	ja_JP.PCK	/usr/openwin/lib/locale/ ja_JP.PCK /app-defaults

Shift-JIS環境では、/usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults ディレクトリ下に上記の リソースファイルをリネームしてコピーします(、SJIS 拡張子なしでコピーする)。

リソース ファイルのコピー(ターミナルウィンドウより)

```
host # cd /usr/ups/rsrc (ディレクトリの移動)
host #
host # (以下、指定の環境パスへリソースをコピーしていきます)
host #
host # cp Dialog.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/Dialog
host # cp SCdisp.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/SCdisp
host # cp XInst.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/XInst
host # cp XOption.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/XOption
host # cp NETadm.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/NETadm
host # cp UPsg.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/UPsg
host # cp XMaint.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/XMaint
host # cp XSched.SJIS /usr/openwin/lib/locale/ja_JP.PCK/app-defaults/XSched
```